

第2回周南コンビナート脱炭素推進協議会 議事要旨

開催要領

日 時 令和4年3月24日(木) 16:00～17:00

場 所 周南市役所 庁議室(本庁舎4階) ※WEB併用

出席者 【構成員】(敬称略)

藤井 律子	周南市長
辻 佳子	公益社団法人化学工学会副会長 東京大学環境安全研究センター教授
三品 鉄路	出光興産株式会社 執行役員 徳山事業所 所長
田代 克志	東ソー株式会社 代表取締役 専務執行役員 南陽事業所 所長
井上 裕司	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル戦略室長
國岡 信哉	日鉄ステンレス株式会社 常務執行役員 製造本部 山口製造所長
本間 彰	日本ゼオン株式会社 徳山工場 副工場長

【オブザーバー】(敬称略)

吉村 一元	経済産業省 製造産業局 素材産業課長
酒井 貴司	国土交通省中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所長
福島 健彦	環境省 大臣官房 総合政策課長(総合環境政策統括官グループ)
平野 展康	山口県産業戦略部長
稲葉 和也	周南市水素利活用協議会 会長 山口大学 大学院技術経営研究科教授
福代 和宏	周南市木質バイオマス材利活用推進協議会 会長 山口大学 大学院技術経営研究科教授

【補佐人】(敬称略)

石戸 利典	公益社団法人化学工学会前会長 株式会社 IHI エグゼクティブ・フェロー
阿尻 雅文	公益社団法人化学工学会元会長 東北大学材料科学高等研究所教授
藤井 実	公益社団法人化学工学会 国立研究開発法人 国立環境研究所
板垣 秀人	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課 課長
大塚 雄一郎	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課
稲毛 康二	東ソー株式会社 南陽事業所 副事業所長
土谷 和寛	東ソー株式会社 事業所長室 技術管理グループ
大森 一幸	株式会社トクヤマ 徳山製造所工場企画運営グループ 主席
甘庶 佳昭	日鉄ステンレス株式会社 生産技術室長
藤村 佳樹	日本ゼオン株式会社 徳山工場

谷地 義秀 日本ゼオン株式会社
本社 カーボンニュートラル推進室 室長

【事務局および関係課】

佐田 邦男 周南市副市長
山本 敏明 周南市産業振興部長
荒美 雅丈 周南市産業振興部 商工振興課長
吉村 渉 周南市産業振興部 商工振興課 新産業推進室長
山根 正敬 周南市産業振興部 商工振興課 新産業推進室長補佐
井尻 帆乃香 周南市産業振興部 商工振興課 新産業推進室
川口 洋司 周南市企画部長
河本 浩 周南市環境生活部長
山田 将之 周南市環境生活部 環境政策課長

議事次第

1. 開会
 2. 会長（周南市長）あいさつ
 3. 副会長あいさつ
 4. 議事
 - （1）令和4年度事業計画案及び予算案について（事務局）
 - （2）グランドデザイン策定に向けた検討状況について（公益社団法人化学工学会）
 - （3）その他
 5. 閉会
- ＜配布資料＞
- 資料1：出席者名簿
 - 資料2：令和4年度 事業計画（案）について
 - 資料3：令和4年度 予算（案）について

議事録

1. 開会

(司会)

それではただいまから、「第2回周南コンビナート脱炭素推進協議会」を開催いたします。

本日は年度末の大変ご多用のところ、御出席を賜り、誠にありがとうございます。

私は、本日進行を務めます、周南市商工振興課長の荒美と申します。どうぞよろしくお願いします。

本日は、次第のとおり進行し、17時までを予定しております。本来であれば、御出席の皆様をご紹介するところでございますが、時間の関係上、配布しております出席者名簿と配席図をもちまして、ご紹介に代えさせていただきます。

なお、本日の会議につきましては、議事(1)までの部分公開とさせていただきます。それでは、開会にあたり、会長と副会長からご挨拶をいただきたいと存じます。最初に、会長の藤井市長、お願いいたします。

2. 市長あいさつ

(市長)

周南市長の藤井律子でございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より、本市の産業振興をはじめ、まちづくりに格別の御支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「港とコンビナート」は、言うまでもなく、本市の「なくてはならない財産」であり、徳山下松港は、来月10日に開港100周年という大きな節目を迎えます。

さらには、2050年カーボンニュートラルに向けて、西日本エリアのエネルギー供給拠点となるカーボンニュートラルポートを目指した取り組みも進められているところです。

現在、市では周南コンビナートとともに、地域資源の水素、木質バイオマスの利活用の取り組みを進めておりますが、産業の振興と脱炭素の両立はなかなか難しく、対応すべき課題も多くございます。

そうした中、化学工学会様が周南コンビナートを地域連携カーボンニュートラル推進プロジェクトのモデルケースとして選定してくださいました。

私はこのことを大きなチャンスとしてとらえ、これを契機に、周南コンビナートの将来構想を描き、社会実装につなげる周南モデルを構築したいと考え、この度の協議会の設立を呼び掛けさせていただきました。

今年は、開港100周年とともに、脱炭素に向けた新たなスタートの年となります。周南市から、そして、周南コンビナートから脱炭素の変革を起こす。その覚悟と意気込みで周南市が旗振り役となり、取り組みを進めてまいりますので、皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(司会)

ありがとうございました。続いて、副会長の公益社団法人化学工学会の辻様、お願いいたします。

3. 副会長挨拶

(副会長)

辻と申します。前回、第1回のときに私がこの場で申し上げたのは、地球課題について解決すること、周南にとってビッグチャンスであること、加えて周南から他の地域への展開、といったことを述べさせていただきました。

加えて周南地域と他の地域との連携など、そういったこともカーボンニュートラルの課題を解決するためにとっても大事なことだと思いますので、周南がいいモデルケースとなり、いろんな地域を牽引していくような形になればと、この数か月の間に強く思った次第であります。

具体的には工学モデルを立てること、ビジネスモデルを立てること、それから連携の仕方のモデルを立てること、そのモデルを立てて実施することが大事な訳ですが、それがちゃんと持続性があること、それからカーボンニュートラルに対する施策を実現したことを仮定したときに、それによるリスク等も予めきちんと洗い出しをした上で、最適な施策を実現することが大事だと思っております。

協議会の皆さんと一緒に議論をし、いち早くリーダーシップを持って、日本の中で実装した姿を情報発信するということに努めていければという風に思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 議事(1) 令和4年度事業計画案及び予算案について

(司会)

それでは、早速ですが議題に入ります。

まず、議事(1) 令和4年度事業計画案及び予算案について事務局から、説明をお願いいたします。

(事務局)

周南市商工振興課の吉村です。

令和4年度事業計画案及び予算案についてご説明いたします。まずは、令和4年度事業計画案についてとなります。資料2をご覧ください。

1、総会につきましては、年3回の開催を予定し、主なものとして、本日の協議事項でもあります「グランドデザイン策定に向けた検討」を進め、令和5年3月の「グランドデザイン策定・公表」を目指したいと考えております。

次に2、ワーキンググループです。周南コンビナート・グランドデザイン策定など、必要に応じて、ワーキンググループを随時開催したいと考えています。その内容や時期等につきましては、協議・検討が必要な事項などを踏まえ、化学工学会様とも調整しながら、検討したいと考えております。

続いて、3、シンポジウムです。周南コンビナートの脱炭素を推進する上で、この取組みを、地域内外に情報発信し、御理解・御協力をいただくことが重要と考え、シンポジウムを開催したいと考えています。

最後に（4）勉強会・講演会でございます。本年2月、徳山商工会議所工業部会の方を対象に、本協議会、副会長・辻先生から「周南コンビナートのカーボンニュートラルに向けた取組」について、ご講演をいただきました。

来年度も市民目線で、分かりやすい形により、取組の意義や問題意識の共有に向けて、市内の企業、団体、学生などを対象に、勉強会・講演会を開催したいと考えております。

事業計画は以上でございます。実施に際しまして、皆様に御協力をお願いすることもあるかと存じますが、その節は、何卒よろしくお願い申し上げます。

続きまして、予算案です。資料3をご覧ください。

収入の部です。市の交付金として「周南コンビナート脱炭素推進事業交付金」、308万4千円を計上しております。

次に、支出の部です。先程御説明しました来年度の事業の実施に要する経費です。

- ・協議会運営経費として、103万4千円、
- ・ランドデザイン作成経費として、150万円、
- ・シンポジウム、勉強会など広報・啓発事業費として、55万円

合計308万4千円を計上しております。

以上、簡単ではございますが、令和4年度事業計画案及び予算案を説明させていただきました。よろしくお願い致します。

（会長）

事務局からの説明について、御意見・御質問等がございましたら、お願いします。

それでは、特にご質問等ないようですので、令和4年度事業計画（案）、予算（案）について、ご承認ということでよろしいでしょうか。

—————異議なし—————

御異議ございませんので、事業計画（案）、予算（案）につきましては、原案のとおり承認されました。

ここで報道関係者の皆様にお願いがございます。事前にご案内させて頂きましたとおり、本協議会の撮影・取材はここまでとさせていただきます。

大変申し訳ありませんが、ご協力をお願いします。

4. 議事（2）ランドデザイン策定に向けた検討状況について

～非公開～

5. 閉会

(司会)

皆様、ありがとうございました。

ここで事務局より、ご案内いたします。

本日のグランドデザインの素案は、化学工学会様と各社とのヒアリングで作成されています。

今後の作業や取りまとめなどに際し、必要に応じ、ワーキンググループで検討したいと考えております。実施が決まりましたら、日程等、追ってご連絡させていただきます。

今後もグランドデザインの策定に向けて、皆様と連携して議論を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。